

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位 ・ 45時間	開講時期	1年・前期
授業科目名	地域・在宅看護概論			授業形態	講義
担当教員	西丸 恵子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	人間は周囲の環境から影響を受け、環境と相互作用の中で絶えず変化をしながら生活を営んでいる。人々が暮らす地域という環境において地域・在宅看護の目的・対象・活動の場・活動方法の特徴及び地域・在宅看護の役割と機能について理解する。また、地域で暮らすための、様々な人的・物的資源の種類と活用方法を知り、看護実践に生かす。				
学習目的	地域包括ケアシステムの構築・推進を念頭に、地域で生活する人々と家族を理解し、地域における様々な場で対象と家族の暮らしを支える看護の基礎を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域・在宅看護の概念について理解する 2.多様な場でその人らしい暮らしを支える看護師の役割について理解する 3.療養者を取り巻く家族も支援対象として理解する。 4.対象者の生活を支えるための自助・互助・共助・公助について理解する。 				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1・2 人々の暮らしと地域・在宅看護 3・4 人々の暮らしと地域・在宅看護 5・6 暮らしと地域 7・8 地域包括ケアシステム 9・10 地域包括ケアシステムと「自助・互助・共助・公助」 11・12 地域を理解する(演習) 自分の暮らしを振り返る 13・14 地域・在宅看護の対象者 15・16 健康レベルの多様性 17・18 家族を理解する 19・20 地域に暮らす対象者と看護 21・22 地域における暮らしを支える看護 23・24 暮らしを支える看護とは 25・26 暮らしの環境を整える看護 27・28 地域におけるライフステージに応じた看護 29・30 疾病とライフステージ 31・32 家族とライフステージ 33・34 地域での暮らしにおけるリスクの理解 35・36 暮らしにおけるリスクの理解 37・38 地域での暮らしにおける災害対策 39・40 主な地域・在宅看護実践の場 41・42 地域・在宅看護における多職種連携 43・44 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 45 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験				
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 第6版 2刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					